



2019年度（令和2年3月期）

化学の力で未来を今日にする

ZEON

決算報告

日本ゼオン株式会社

2020年4月28日

■ 2019年度決算のポイント	P.2
■ 2019年度業績サマリー	P.3
■ P/Lの概要	
● エラストマー素材事業	P.7
● 高機能材料事業	P.12
■ B/Sの概要	P.21
■ C/Fの概要	P.22
■ 2020年度の見通し	P.23

1 エラストマー素材は、世界経済減速、市況軟化の影響を受け、前年度と比較して売上高、営業利益ともに減少。

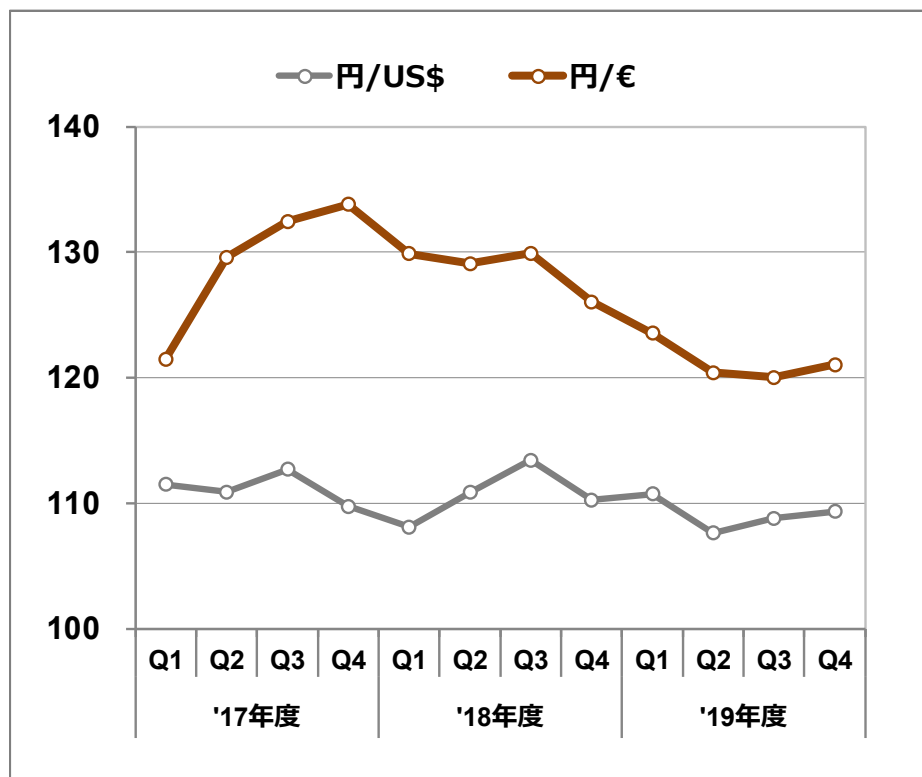
2 高機能材料事業は、高機能樹脂関連、電池材料の販売が堅調に推移し、売上高、営業利益とも増加。過去最高益。

3 新型コロナウイルスによる、直接的な業績への影響は軽微。なお当社の中国生産拠点は2/10から順次操業を再開し、以降は平常通りの操業を維持。

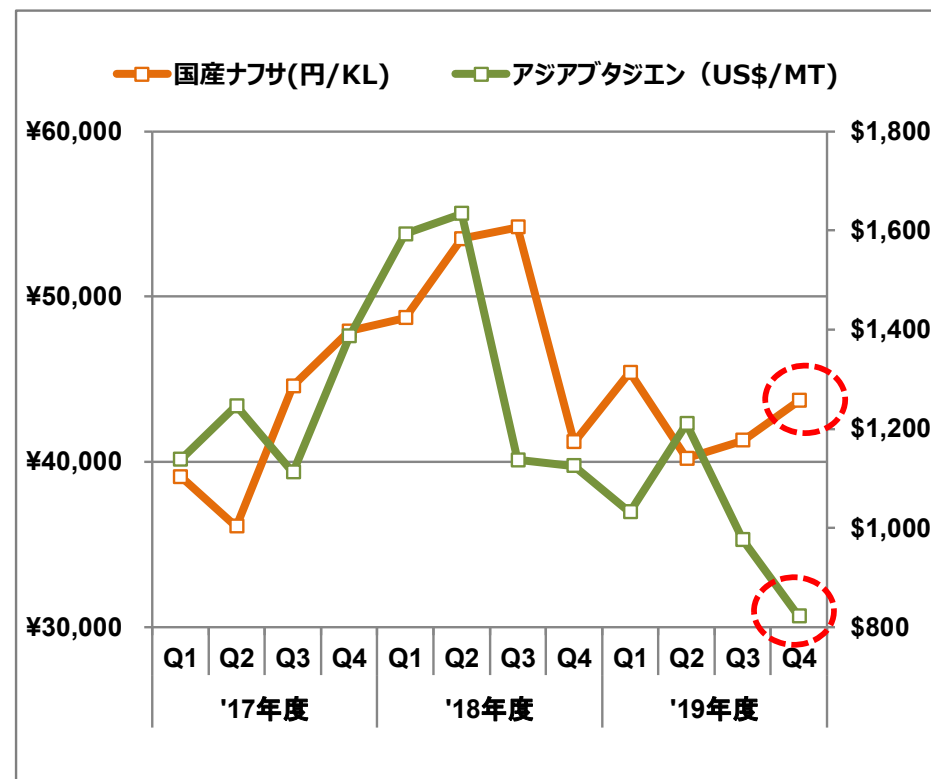
(単位：億円)	対前年度比			
	2018年度	2019年度	増減	増減率
売上高	3,375	3,220	△155	△5%
営業利益	331	261	△70	△21%
経常利益	363	287	△76	△21%
当期純利益	185	202	+17	+9%

- エラストマー素材の落ち込みにより、対前年度比 減収減益。
- 当期純利益は、減損損失等の特別損失が減少したため増加。

【為替推移】



【主原料推移】



	2018年度	2019年度	対前年度比	
			増減	増減率
円/US\$	¥110.7	¥109.1	△ 1.6	△1%
円/€	¥128.7	¥121.3	△ 7.4	△6%
国産ナフサ/KL	¥49,500	¥42,700	△ 6,800	△14%
アジアブタジエン/MT	US\$1,372	US\$1,010	△ 362	△26%

(単位：億円)	売上高					
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	増減	増減率
エラストマー素材	1,662	1,946	1,981	1,788	△192	△10%
高機能材料	750	865	851	917	+66	+8%
その他の事業	490	539	567	535	△33	△6%
消去等	△ 26	△ 23	△ 25	△ 21	+4	-
連結売上高	2,876	3,327	3,375	3,220	△ 155	△5%

	営業利益					
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	増減	増減率
エラストマー素材	206	222	177	96	△80	△45%
高機能材料	98	167	161	173	+12	+7%
その他の事業	29	32	28	21	△7	△25%
消去等	△ 25	△ 32	△ 34	△ 29	+5	-
連結営業利益	308	389	331	261	△ 70	△21%

エラストマー素材は減収減益、高機能材料は増収増益

■ 2019年度決算のポイント	P.2
■ 2019年度業績サマリー	P.3
■ P/Lの概要	
● エラストマー素材事業	P.7
● 高機能材料事業	P.12
■ B/Sの概要	P.21
■ C/Fの概要	P.22
■ 2020年度の見通し	P.23

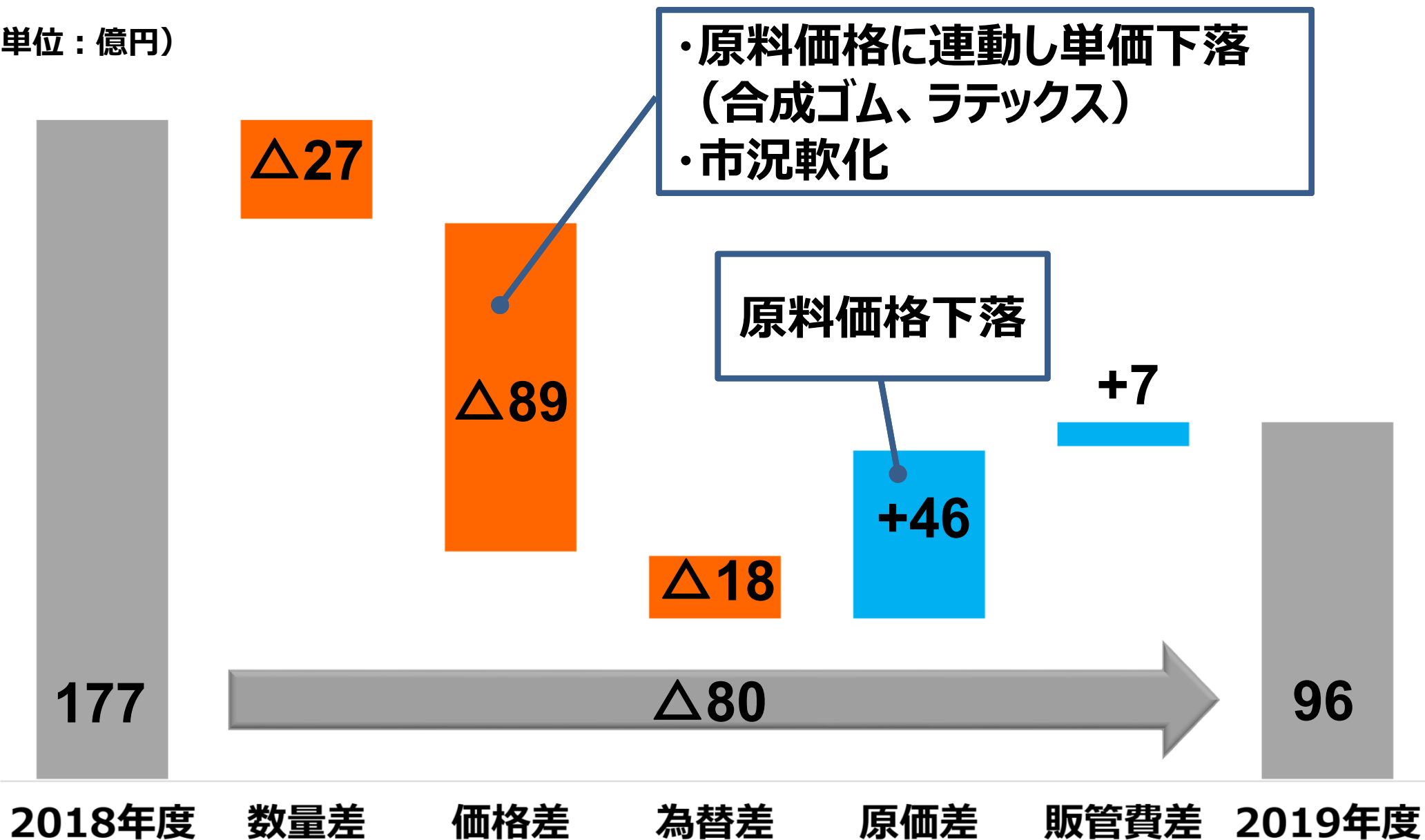
（単位：億円）

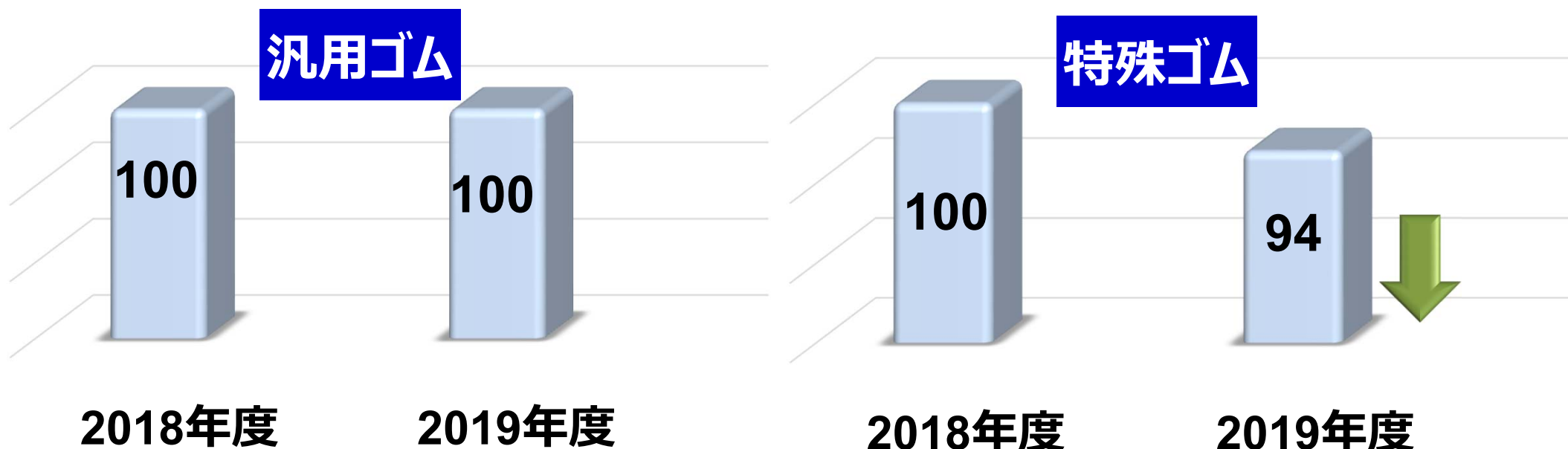
	2018年度	2019年度	増減	増減率
販売数量（千トン）	616	598	△ 19	△ 3 %
合成ゴム	355	348	△ 7	△ 2 %
ラテックス	123	121	△ 2	△ 2 %
化成品	138	129	△ 10	△ 7 %
売上高	1,981	1,788	△ 192	△ 10 %
合成ゴム	1,388	1,238	△ 150	△ 11 %
ラテックス	188	168	△ 20	△ 11 %
化成品	383	348	△ 35	△ 9 %
その他・消去	22	35	13	61 %
営業利益	177	96	△ 80	△ 45 %
営業利益率	9%	5%	△ 4 pt	

- 合成ゴム：自動車産業・一般工業品用途等の需要が弱く、原料連動で価格下落。
- ラテックス：化粧品材料・一般工業品用途等の需要減、原料連動で価格下落。
- 化成品：主力工場定期検査による生産量見合いの出荷に加え、アジア市況軟化。

エラストマー素材事業：要因別 営業利益差異 (YoY) ZEON

(単位：億円)





（前年度の出荷量を100とした場合の指数）

- 汎用ゴム（主にタイヤ用途）：前年度並の出荷を維持
- 特殊ゴム（主に自動車産業用途）：需要弱く、出荷量減

(単位：億円)	Q3	Q4	増減	増減率
販売数量（千トン）	150	150	0	0%
合成ゴム	85	88	3	4%
ラテックス	33	28	△5	△15%
化成品	32	34	2	6%
売上高	435	434	△2	△0%
合成ゴム	297	292	△5	△2%
ラテックス	41	40	△2	△4%
化成品	87	90	3	3%
その他・消去	10	12	2	24%
営業利益	26	11	△15	△57%
営業利益率	6%	3%	△3 pt	

【営業利益の差異】

- Q3比でナフサ価格上昇。（当社ナフサ指標 Q3：41,300円 ⇒ Q4：43,700円/KL）
- 合成ゴムは市況軟化で価格下落、棚卸資産を再評価。
- ラテックスは販売数量が落ち込み売上高減少、製造原価（工場固定費）上昇。
- 20年度に計画されている、ゴム・ラテックスの主要生産工場の定期検査費用を計上。
- シンガポール子会社が原料調達先の定期メンテナンスのため生産停止した影響 など。

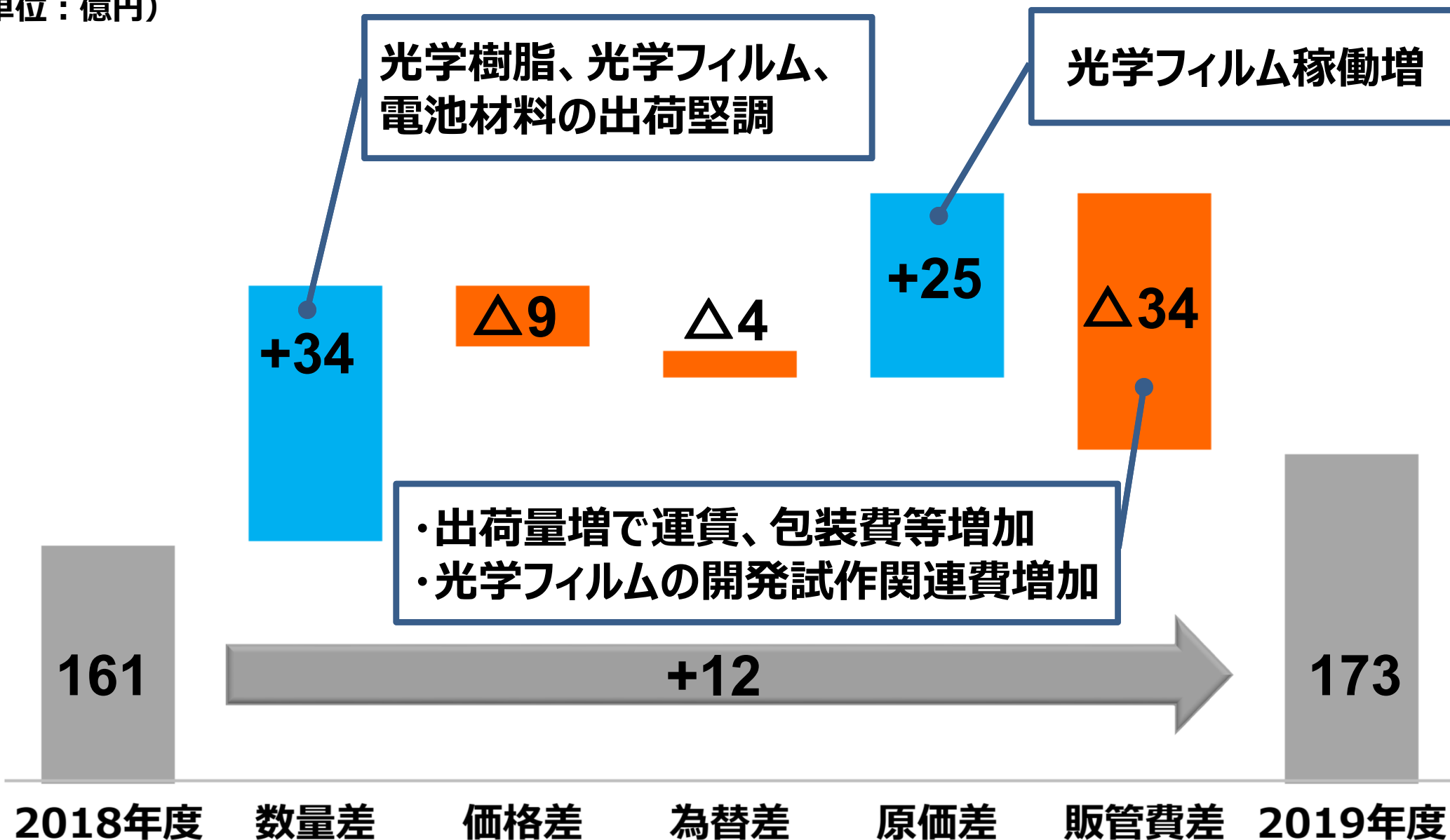
■ 2019年度決算のポイント	P.2
■ 2019年度業績サマリー	P.3
■ P/Lの概要	
● エラストマー素材事業	P.7
● 高機能材料事業	P.12
■ B/Sの概要	P.21
■ C/Fの概要	P.22
■ 2020年度の見通し	P.23

（単位：億円）

	2018年度	2019年度	増減	増減率
売上高	851	917	66	8 %
高機能ケミカル	276	291	15	5 %
高機能樹脂	519	568	49	10 %
メディカル他	57	59	2	4 %
営業利益	161	173	12	7 %
営業利益率	19%	19%	0 pt	

- 高機能ケミカル：電池材料が堅調に推移。化学品、トナーは減収減益。
- 高機能樹脂：光学樹脂、光学フィルムともに堅調に推移。

(単位：億円)



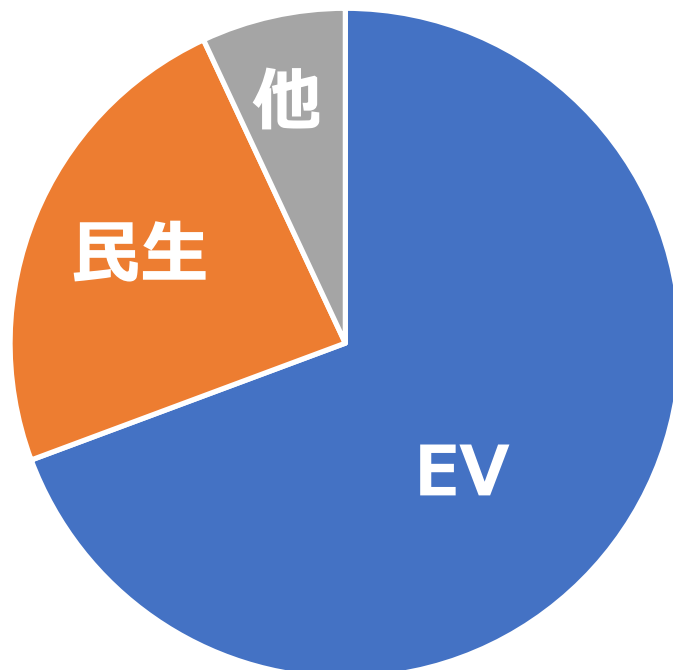
(単位：億円)

	Q3	Q4	増減	増減率
売上高	224	239	15	7 %
高機能ケミカル	73	76	3	4 %
高機能樹脂	137	147	11	8 %
メディカル他	14	16	1	8 %
営業利益	40	41	0	1 %
営業利益率	18%	17%	△1 pt	

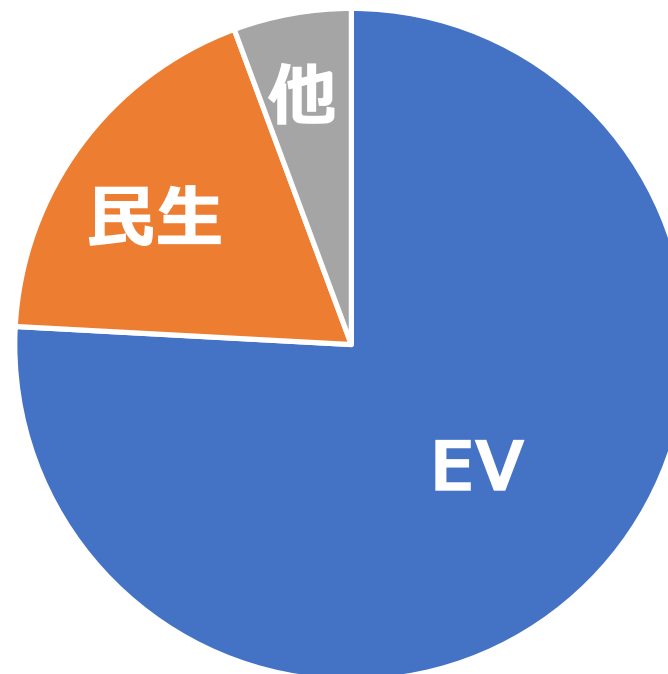
■ **高機能ケミカル**：電子材料、トナーが堅調に推移。
電池材料は微減。

■ **高機能樹脂**：光学樹脂、光学フィルムともに堅調に推移。
光学フィルムの開発試作関連費用、不良品の処分損等をQ4に計上、高機能事業全体の営業利益はQ3横這い。

【2018年度】



【2019年度】



2019年度はEV向けの売上比率が増加

※用途の切り分けは当社調査
2019年度実績ベース

	QoQ	YoY
EV向け	57%	113%
民生他向け	168%	96%
全体	99%	106%

■ EV

QoQの落ち込みは、中国におけるNEV規制厳格化を見据えた生産先送りと、春節休暇、新型コロナウイルスによる中国顧客の稼働日数減の影響。通年では堅調に推移。

■ 民生他

QoQでは大きく伸びるも、韓国で発生したエネルギー貯蔵装置（ESS）火災の影響で前半伸び悩み、通年では微減。

	QoQ	YoY
中小型向け	97%	109%
大型向け	106%	109%
全体	104%	110%

■ 中小型向け

新モデルへの採用に加え、新型コロナウイルスの影響でパソコン、タブレット向け需要が増え、QoQでも大幅な落ち込みは見られず。通年通して堅調に推移。

■ 大型向け

販路拡大が奏功し、出荷量は堅調に推移。

	QoQ	YoY
光学向け	147%	121%
医療他	109%	102%
全体	120%	108%

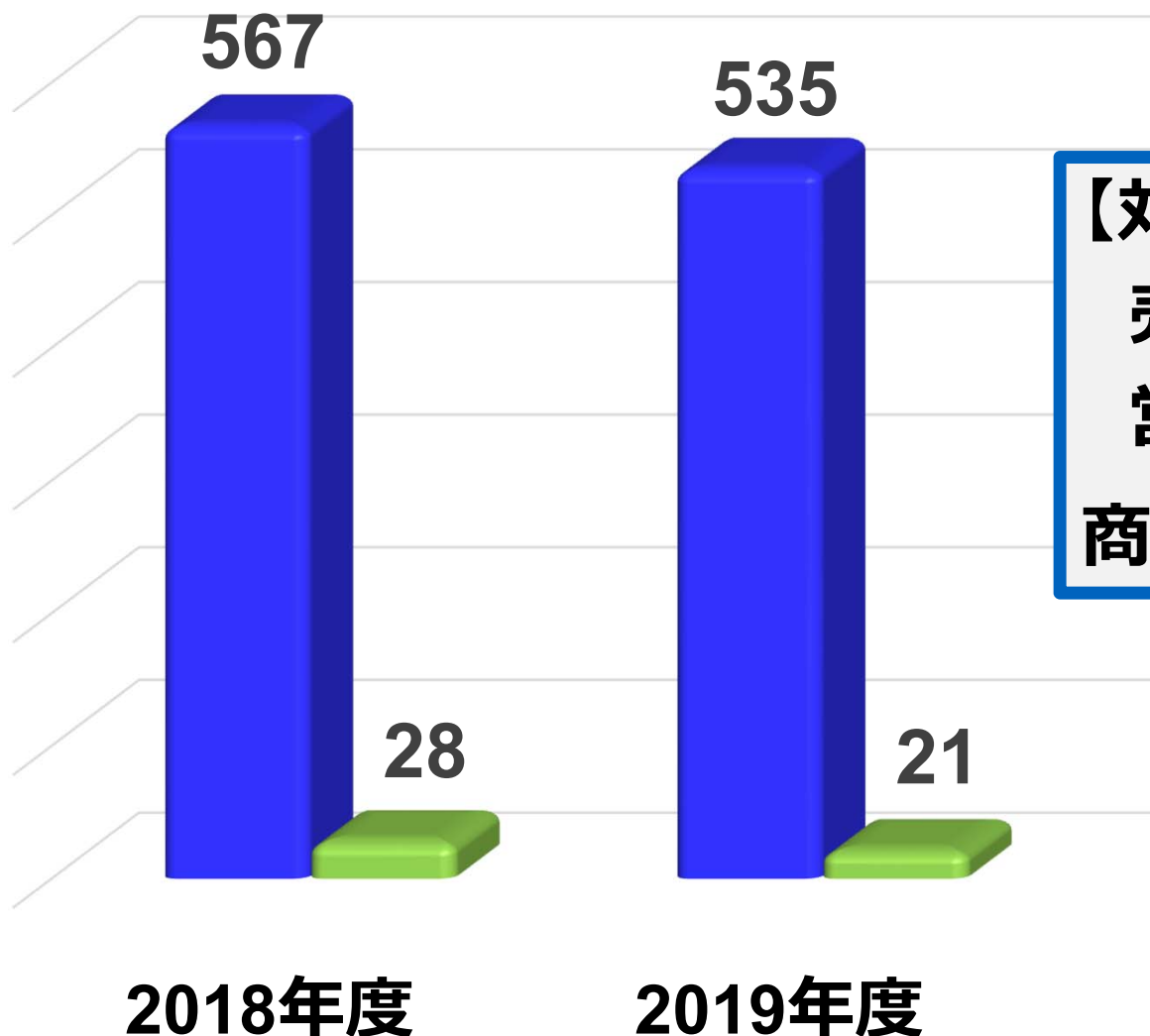
■ 光学向け

QoQでは主にスマートフォン向けが堅調、YoYでも総じて堅調に推移。

■ 医療他向け

QoQは出荷時期の前倒しを一部含むも、YoYでも安定して伸長。

(単位：億円)



【対前年度】

売上高 : Δ 33億円

営業利益 : Δ 7億円

商社部門、RIM事業が落ち込み

■ 売上高 ■ 営業利益

■ 2019年度決算のポイント	P.2
■ 2019年度業績サマリー	P.3
■ P/Lの概要	
● エラストマー素材事業	P.7
● 高機能材料事業	P.12
■ B/Sの概要	P.21
■ C/Fの概要	P.22
■ 2020年度の見通し	P.23

【流動資産】 △128億円

◆ 売掛債権 △70億円

◆ 未収入金 △57億円

(ともに休日影響)

【流動負債】 △176億円

◆ 買入債務 △167億円

(休日影響)

【固定資産】 △70億円

◆ 資本的支出 291億円

・光学フィルム生産設備増設等

◆ 減価償却費 △174億円

◆ 投資有価証券 △190億円



総資産4,051億円
(△198億円)

【純資産】 +12億円

◆ 純利益 202億円

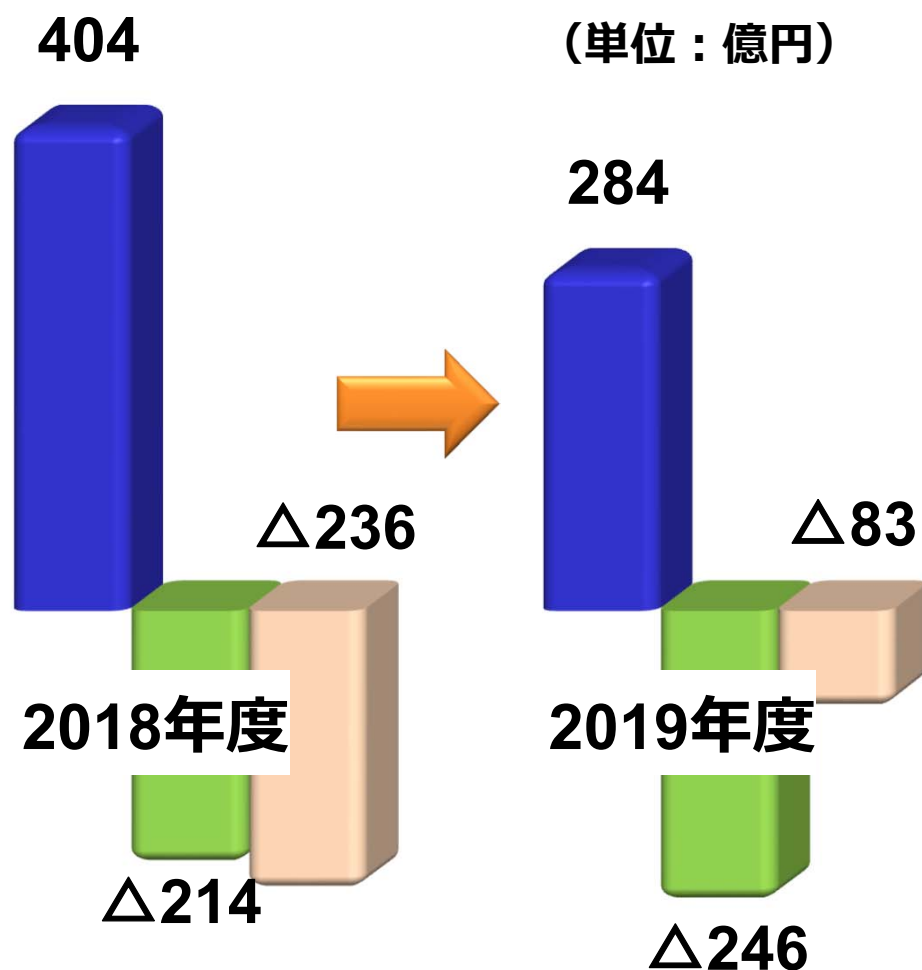
利益剰余金 +156億円

◆ 財務指標

・有利子負債 210億円 (△32)

・自己資本比率 63.5% (+3.2%)

・D/Eレシオ 0.08 (△0.01)



	2018年度	2019年度
営業CF	404	284
投資CF	Δ 214	Δ 246
フリーCF	190	39
財務CF	Δ 236	Δ 83
CF	Δ 46	Δ 44

- ◆ 営業CF : Δ 120億円
 - 売掛債権減少 (休日影響) Δ 104億円
- ◆ 投資CF : Δ 31億円
 - 設備投資増加 Δ 104 億円
 - 投資有価証券取得の減少 + 60億円
- ◆ 財務CF : +153億円
 - ・前年度に社債償還100億円
 - ・同 自己株式取得 50億円

■ 営業CF ■ 投資CF ■ 財務CF

新型コロナウイルス終息時期の見通しは立たず。
長期にわたって当社へ影響をおよぼす恐れは払拭できず、
不測の事態に即応すべく『緊急対策本部』を設置。

全事業所、拠点においては引き続き感染予防を徹底し、
感染例が発生した場合は、対応措置に則り速やかに対処。

2020年度の業績予想および配当予想については、
新型コロナウイルスの影響で合理的な業績予想の算出が
困難であるため、本日時点では未定とさせていただきます。

本資料に掲載されている当社の計画や見通しなどは、現在入手可能な情報に基づき算出したものであり、リスクや不確定な要因を含んでおります。
実際の業績等は様々な要因により、大きく異なる結果になる場合があります。

2020年度 第1四半期	2020年7月31日予定
--------------	--------------

※上記の予定は、都合により予告なく変更する場合がございます

ZEON

日本ゼオン株式会社

以 上

四半期損益推移（億円）

	2018年				2019年				QoQ		前年同期（下期）		YoY	
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	増減	増減率	増減	増減率	増減	増減率
販売数量（千トン）	159	149	145	164	147	150	150	150	0	0%	△ 8	-3%	△ 19	-3%
ゴム	91	84	80	99	85	90	85	88	3	4%	△ 7	-4%	△ 7	-2%
ラテックス	31	29	30	32	30	31	33	28	△ 5	-15%	△ 2	-3%	△ 2	-2%
化成品	37	35	34	32	32	30	32	34	2	6%	1	1%	△ 10	-7%
売上高	837	854	855	829	824	809	792	794	2	0%	△ 99	-6%	△ 155	-5%
エラストマー素材	509	493	490	489	471	448	435	434	△ 2	0%	△ 109	-11%	△ 192	-10%
ゴム	363	340	339	345	328	321	297	292	△ 5	-2%	△ 96	-14%	△ 150	-11%
ラテックス	44	51	48	45	45	42	41	40	△ 2	-4%	△ 12	-13%	△ 20	-11%
化成品	98	96	95	94	92	78	87	90	3	3%	△ 12	-6%	△ 35	-9%
その他・消去	4	6	7	5	7	7	10	12	2	24%	10	78%	13	61%
高機能材料	195	229	223	205	223	232	224	239	15	7%	35	8%	66	8%
高機能樹脂	116	148	138	117	142	143	137	147	11	8%	29	11%	49	10%
高機能ケミカル	66	68	70	72	67	75	73	76	3	4%	7	5%	15	5%
メディカル他	14	12	15	16	14	14	14	16	1	8%	△ 1	-3%	2	4%
その他・消去	132	132	143	136	131	129	132	122	△ 11	-8%	△ 25	-9%	△ 29	-5%
営業利益	85	95	90	61	83	67	65	46	△ 20	-30%	△ 41	-27%	△ 70	-21%
営業利益率（全体）	10%	11%	11%	7%	10%	8%	8%	6%	△ 2 pt		△ 4 pt		△ 7 pt	
エラストマー素材	51	44	49	33	35	25	26	11	△ 15	-57%	△ 45	-55%	△ 80	-45%
営業利益率	10%	9%	10%	7%	7%	5%	6%	3%	△ 3 pt		△ 8 pt		△ 14 pt	
高機能材料	34	53	42	32	51	41	40	41	0	1%	8	10%	12	7%
営業利益率	17%	23%	19%	15%	23%	18%	18%	17%	△ 1 pt		1 pt		1 pt	

（単位：億円）

	QoQ			
	今期	前期	増減	増減率
売上高	794	792	+2	+0%
営業利益	46	65	△20	△30%
経常利益	52	75	△22	△30%
当期純利益	35	51	△16	△31%

円/US\$	¥109.1	¥109.1	0.0	-
円/€	¥121.3	¥121.3	0.0	-
国産ナフサ/KL	¥42,700	¥42,400	300	+1%
アジア ブタジエン/MT	US\$1,010	US\$1,075	△ 65	△6%

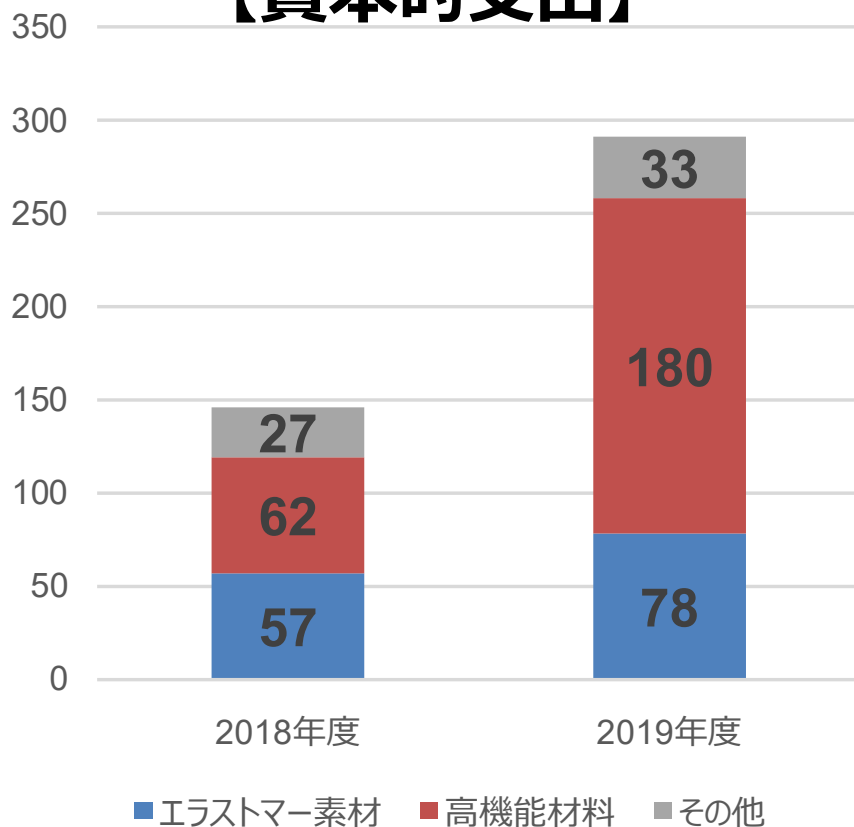
（単位：億円）

	19年下期 vs 18年下期（10月～3月）			
	今期	前期	増減	増減率
売上高	1,586	1,685	△99	△6%
営業利益	111	152	△41	△27%
経常利益	127	160	△33	△21%
当期純利益	87	39	+47	+121%

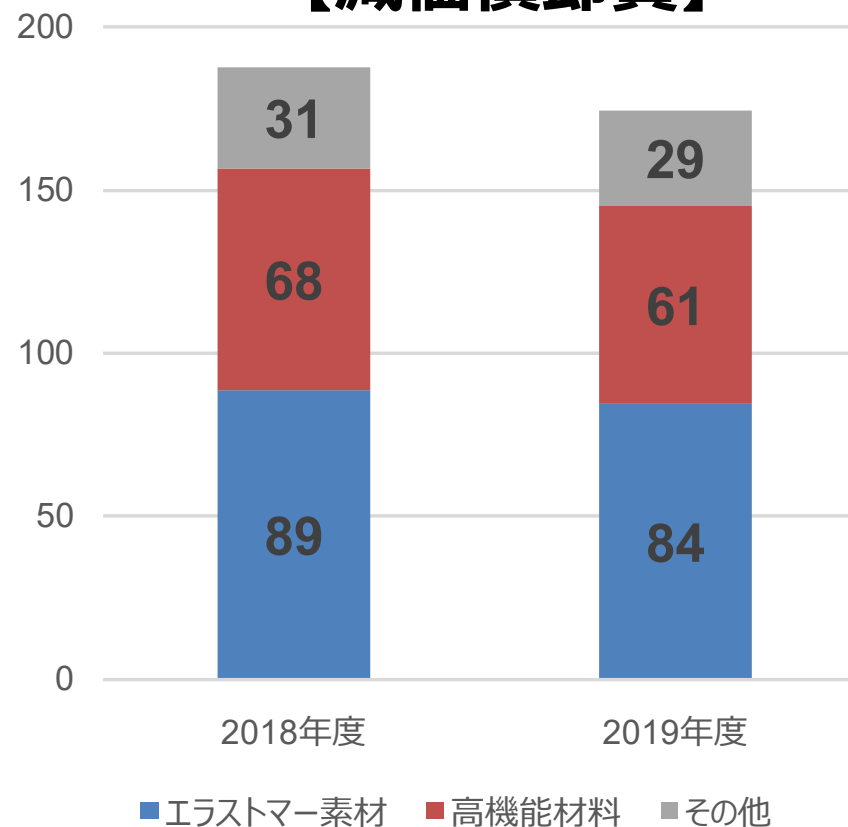
円/US\$	¥109.1	¥111.9	△ 2.8	△3%
円/€	¥120.5	¥128.0	△ 7.5	△6%
国産ナフサ/KL	¥42,500	¥47,700	△ 5,200	△11%
アジア ブタジエン/MT	US\$899	US\$1,131	△ 232	△21%

(単位：億円)

【資本的支出】



【減価償却費】



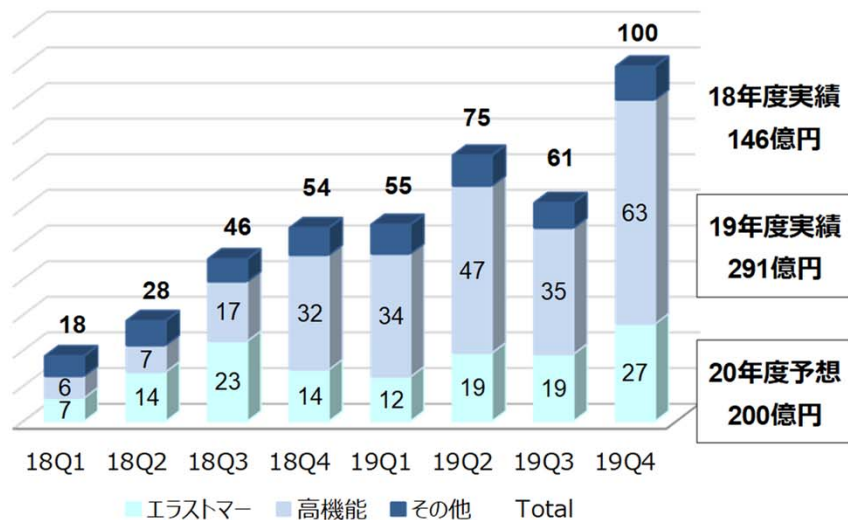
■ 資本的支出：19年度実績291億円（対前年度比+144億円）

光学フィルムの生産設備増設等

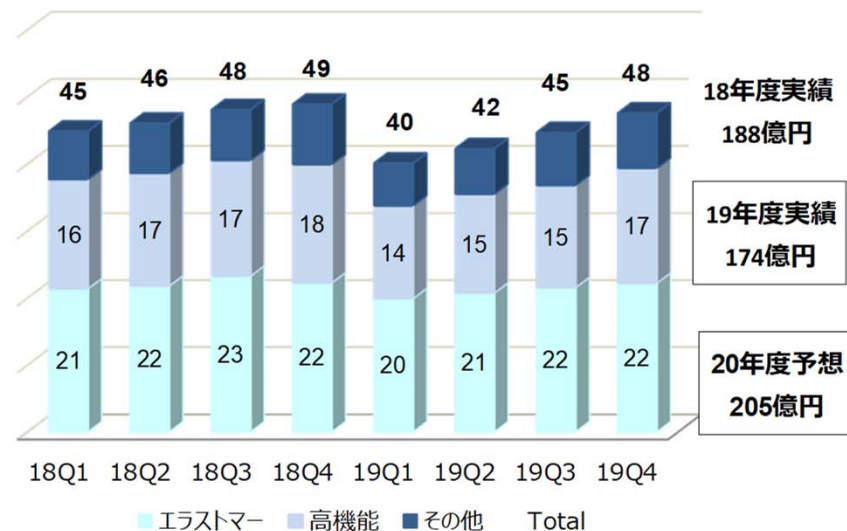
■ 研究開発費：19年度実績153億円（対前年度比△12億円）

対売上高 研究開発費率は4.8%で前年度と変わらず

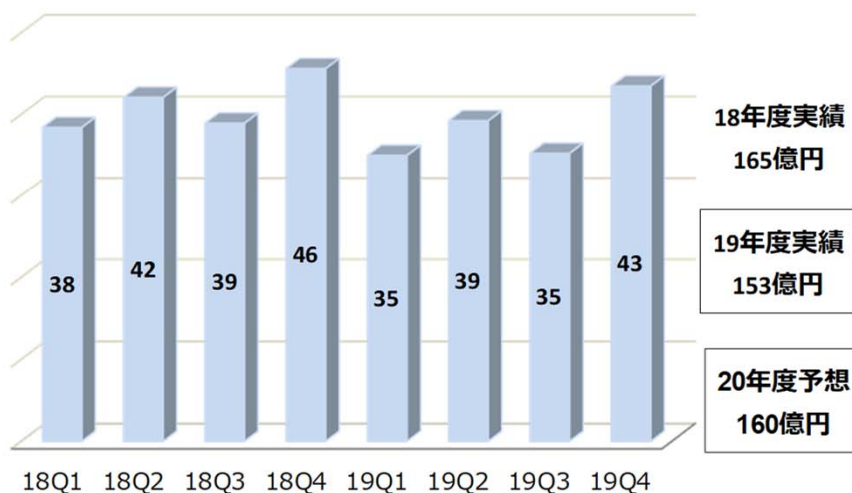
資本的支出 推移 (単位：億円)

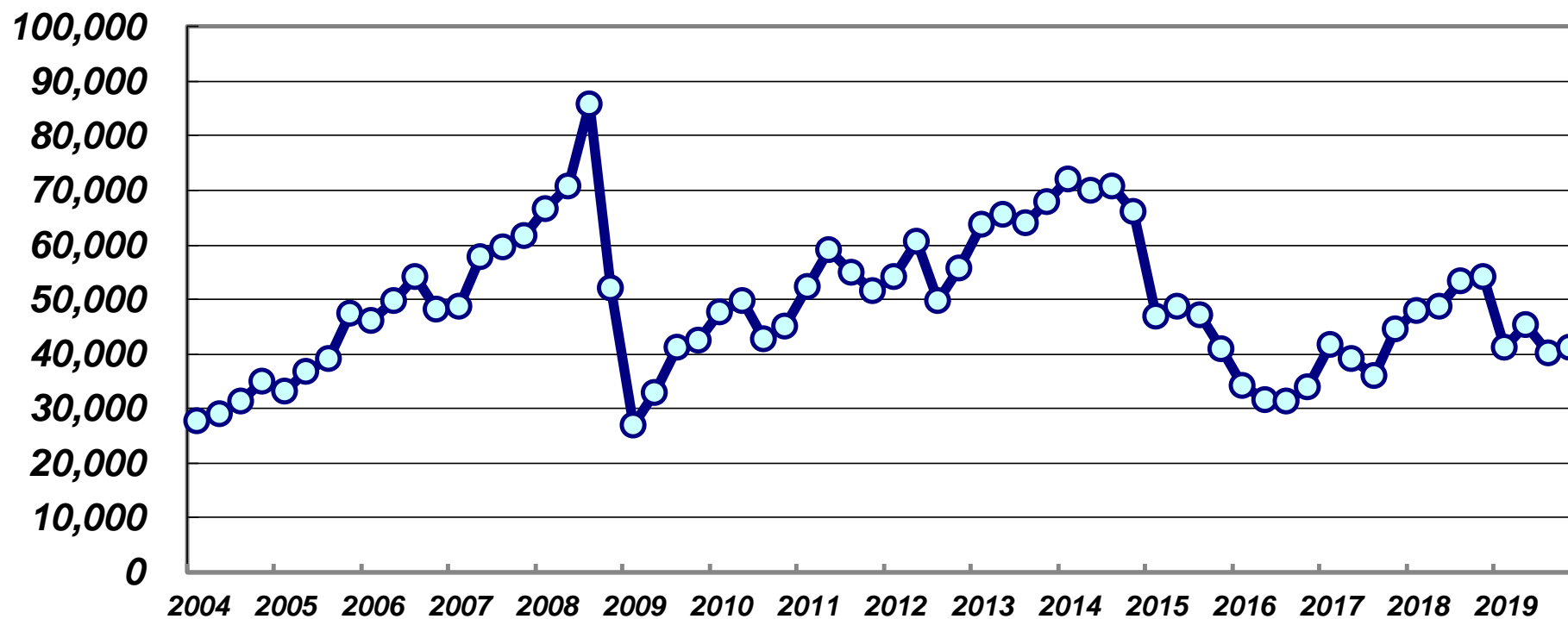


減価償却費 推移(単位：億円)



研究開発費 推移(単位：億円)





	資産		
	20/3末	19/3末	増減
流動資産	2,144	2,272	-128
現預金	320	375	-55
売掛債権	713	784	-70
未収入金	300	357	-57
棚卸資産	732	711	21
その他	79	46	33
固定資産	1,907	1,977	-70
有形固定資産	1,148	1,023	125
無形固定資産	37	32	5
投資有価証券	621	811	-190
その他	101	111	-10
資産合計	4,051	4,249	-198

資本的支出	291
減価償却費	-174
その他影響	13
固定資産増減	129

	負債・純資産		
	20/3末	19/3末	増減
流動負債	1,124	1,300	-176
買入債務	657	824	-167
短期有利子負債	110	121	-12
その他	358	355	3
固定負債	324	357	-34
長期有利子負債	100	120	-20
その他	224	237	-14
純資産	2,604	2,592	12
自己資本	2,572	2,562	11
その他	31	30	2
負債・純資産合計	4,051	4,249	-198

有利子負債	210	241	-32
自己資本比率 (%)	63.5	60.3	3.2
D/Eレシオ	0.08	0.09	-0.01